



TOTO

発電水栓(アクアオート オールインワンタイプ)

TEXN10A型
TEXN20AL型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



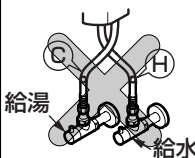
は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

警告

サーモスタット混合栓

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



禁止

サーモスタット混合栓

給湯温度は85℃より高温で使わない

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損してやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。なお、十分な機能を発揮させるため、給湯機の給湯温度は60℃設定をおすすめします。やけど防止のため、60℃を超えない設定をしてください。



警告



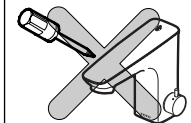
水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない
故障や感電の原因になります。



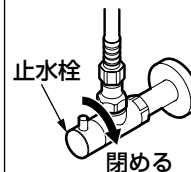
分解禁止

分解したり、修理・改造は絶対に行わない
火災や感電の原因になります。



必ず実行

フィルターの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行う
また、サーモスタット混合栓の場合は、湯側フィルター部が熱くないことを確認する
高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



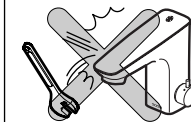
注意



禁止

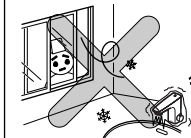
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



屋外や凍結が予想される場所に設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2

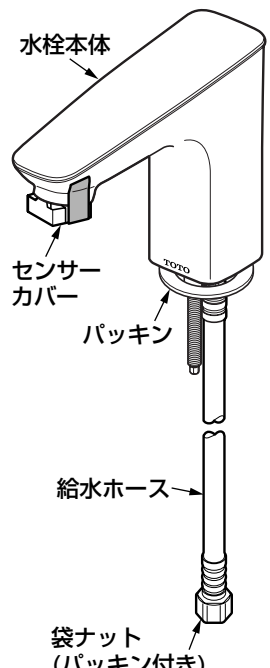
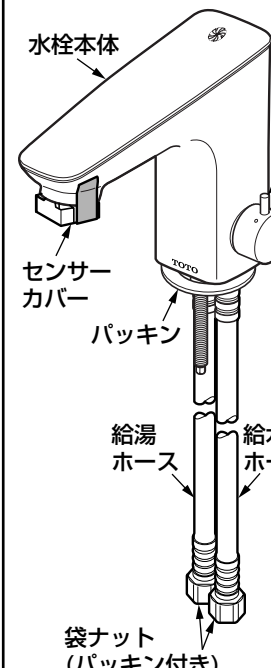
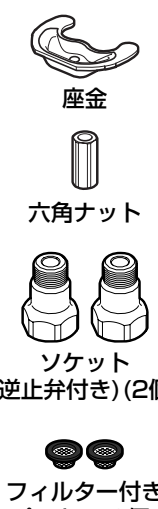
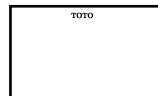
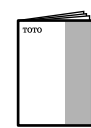
品番と仕様

品番		TEXN10A型	TEXN20AL型
タイプ		単水栓	サーモスタット混合栓
給水・給湯 圧力	最低必要水圧	0.06MPa(流動時)	0.07MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)	
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水	
使用環境温度		1～40℃	
感知距離		学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により自動で感知距離を設定します。)	
吐水流量		ハイパー泡まつ約2L/分 定流量弁内蔵	
給水接続		G1/2	
温度表示		温度表示なし	上部LEDにより吐水 温度を色にて点滅表示
用途		パブリックおよび一般住宅洗面所用	

3

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	
単水栓	サーモスタット混合栓
 水栓本体 センサーカバー パッキン 給水ホース 袋ナット (パッキン付き)	 水栓本体 温度調節 ハンドル センサーカバー パッキン 給湯 ホース 給水 ホース 袋ナット (パッキン付き)
 座金 六角ナット ソケット フィルター付き パッキン	 座金 六角ナット ソケット (逆止弁付き) (2個) フィルター付き パッキン (2個)
その他	
 施工説明書	必ずお客様にお渡しください   取扱説明書 開閉工具

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

4

取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力範囲は、単水栓は0.06(流動時)~0.75MPa(静止時)、サーモスタット混合栓は0.07(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲内でご使用ください。
- サーモタイプの給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるように**してください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 給湯温度の確認

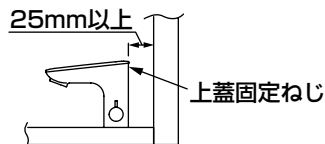
- 誤動作などによるやけど防止のため、**60℃給湯**をおすすめします。ただし、約45℃以上の湯は出ないようにしています。

3. 配管・配線について

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 発電タイプなので電源工事不要です。

4. その他

- センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤動作することがあります。
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります、商品には問題ありません。
- 取り付ける陶器に合わせて排水金具、バックハンガー取付金具、ブラケットまたはフレームが必要となります。設計施工資料集にてご確認のうえ、別途お求めください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 止水栓を取り付けたあと、給水・給湯管内のごみを完全に洗い流してください。内部にごみが詰まり、吐水量が少なくなったり、吐水が乱れたりすることがあります。
- 発電機から音がすることがありますが、故障ではありません。
- メンテナンスのため、壁とスパウト背面部に25mm以上、ねじの取り外しができるスペースを必ず確保してください。



5

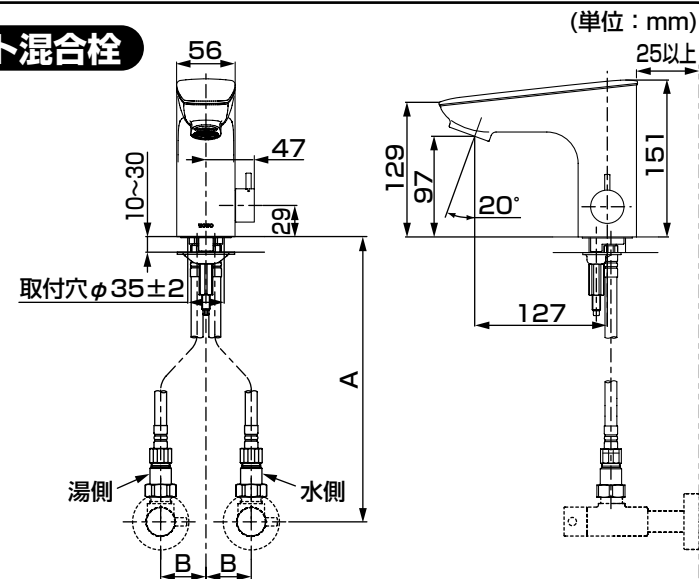
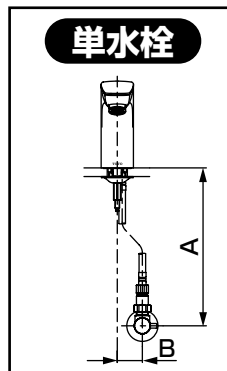
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

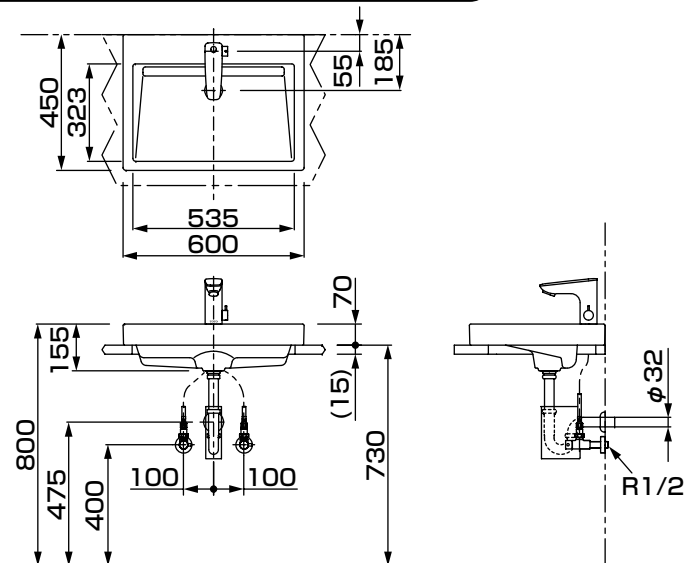
サーモスタット混合栓

A	400±10
B	100±10

単水栓

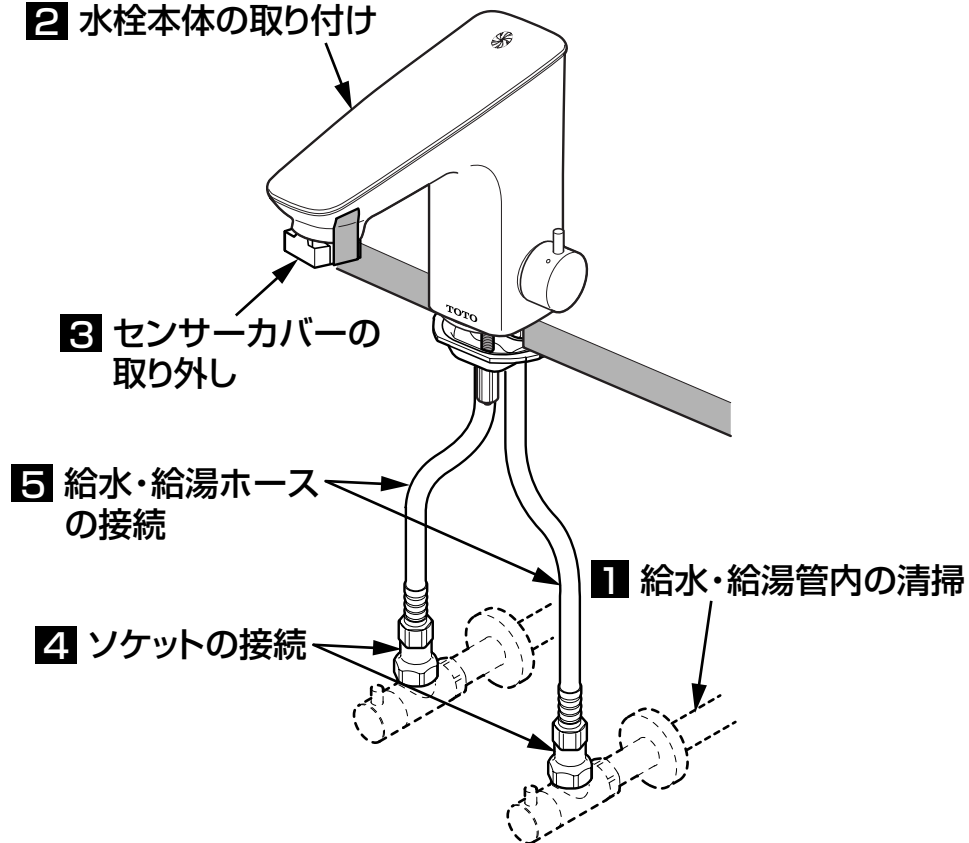


LS911C型+TEXN20AL型の場合



6-1 施工手順

2 水栓本体の取り付け



※品番によっては、図と現品の形状が異なります。

※単水栓は給水ホースのみ

注意

温風乾燥器などとのセットでは、温風乾燥器のセンサー光が陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。誤作動の原因となります。

1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

※フィルターのゴミ詰まりにより流量が低下し、正常に動作しないおそれがあります。

重要

2 水栓本体の取り付け

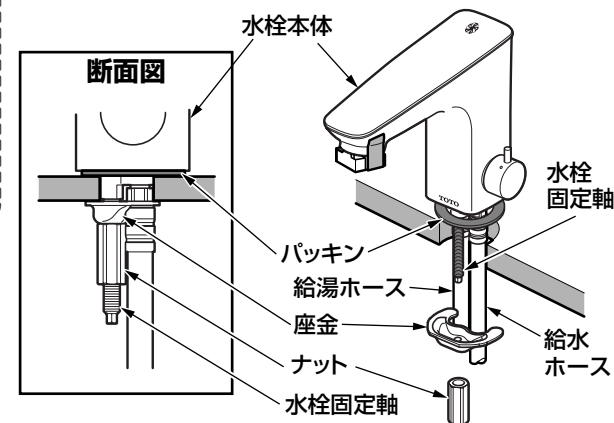
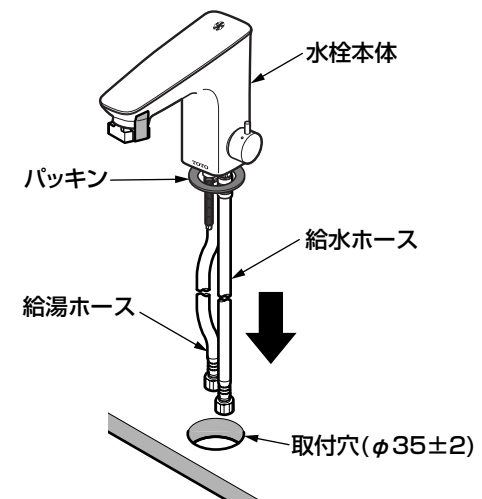
①取付穴周囲の汚れを取る。

②右図のようにパッキンを確認したあと、給水・給湯ホースを取付穴へ差し込む。

③水栓固定軸に座金、ナットの順に通し、水栓本体が正面を向くように固定する。

注意

固定には締付専用工具（別売：TZ40L）を利用して確実に締め付けてください。



注意

水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。

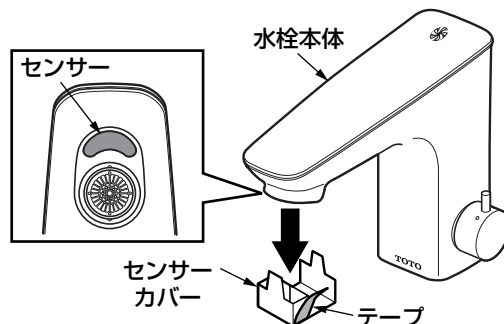
※水栓本体内で発電機が動作します。水栓本体が片寄った状態で固定すると、振動が取付台に伝わり、発電機の動作音が大きく聞こえる場合があります。

裏面へつづく

3 センサーカバーの取り外し

①水栓本体に傷がつかないように、テープをはがす。

②センサーカバーを取り外す。

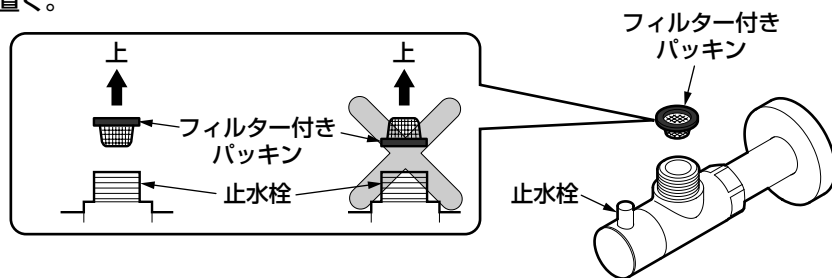


注意

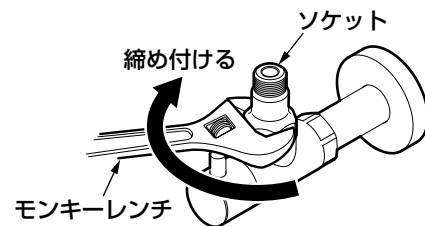
センサーカバーを取り外すとただちに感知距離を自動設定しますので、約2分間はセンサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。

4 ソケットの接続

①止水栓の上にフィルター付きパッキンを置く。

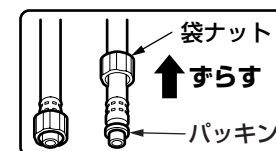


②ソケットの六角ナット部をモンキーレンチで締め付ける。



5 給水・給湯ホースの接続

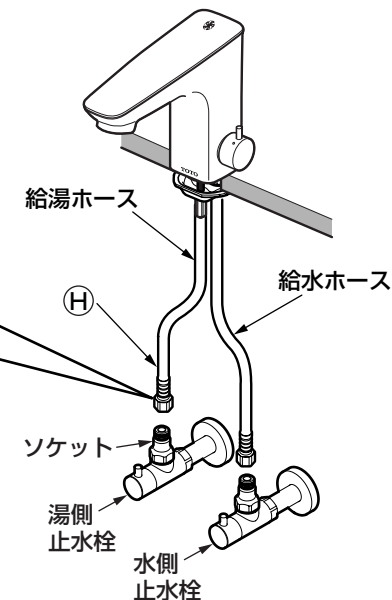
①袋ナットをすらしめて給水・給湯ホースにパッキンがあることを確認し、ソケットに差し込む。



②給水・給湯ホースをソケットに確実に接続する。

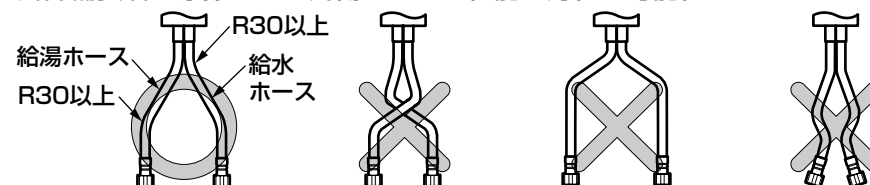
注意

給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを **必要以上の力で曲げて 折らないように** 注意してください。ホースの **最小曲げ半径は30mm** です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。
- ホースを **無理に引っ張らないで** ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の **不要な接触は避けて** ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①水漏れの確認

止水栓を開き、ホース接続部や周辺から水漏れがないことを確認してください。

②水を出す・止める

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると短時間で水が止まります)
- センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。
※洗面器内に水をためると、水の影響により感知し、水が出る場合があります。

注意

センサー前面のセンサーカバーを外して約2分間は、センサーは感知しませんので、ご注意ください。

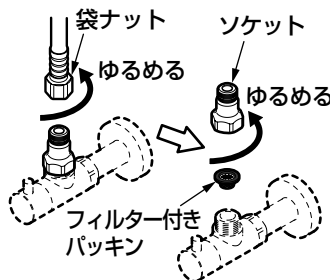
2. フィルター付きパッキンの掃除

試運転後は必ずフィルターを掃除してください。

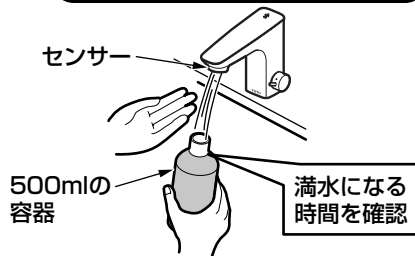
フィルター付きパッキンが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルター付きパッキンを掃除する際は、**止水栓を閉めたあと、袋ナットをゆるめ、ソケットから抜き出し、そのあとソケットをゆるめてフィルター付きパッキンを外してください。**

また、サーモスタット混合栓の場合、湯側配管部が熱くないことを確認してください。



3. 流量の確認

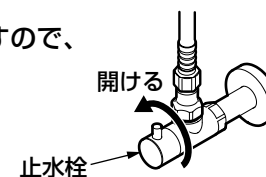


1. センサーの前に手をかざし、水を出す。
サーモスタット混合栓の場合、温度調節ハンドルを水側いっぱい状態で、流量を確認してください。
2. 500mlの容器に水をため、16秒以内に満水になることを確認する。
3. 16秒以上かかる場合は **4-1. 流量の調節** を参照し、流量を調節する。

4-1. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、基本的には流量の調節は不要です。

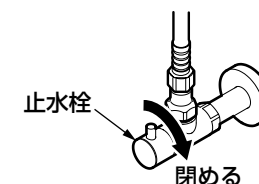
止水栓は全開 でご利用ください。



ただし、圧力が低い場所では、流量が不足する場合がありますので、下記の要領にて流量を調節してください。

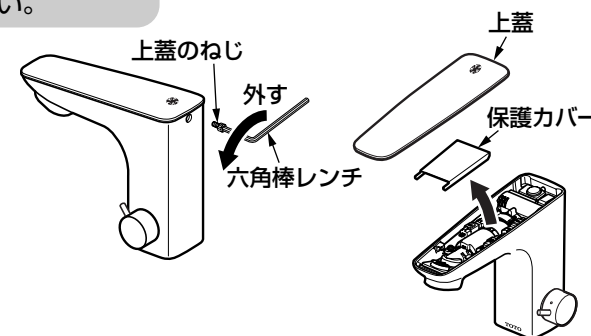
1. 止水栓を閉める。

センサーの前に手をかざし、水が出ないことを確認してください。

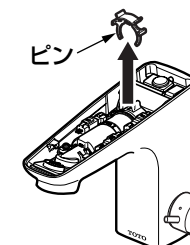


2. 上蓋のねじを外し、上蓋を開け、保護カバーを外す。

市販されている対辺3mmの六角棒レンチをご使用ください。

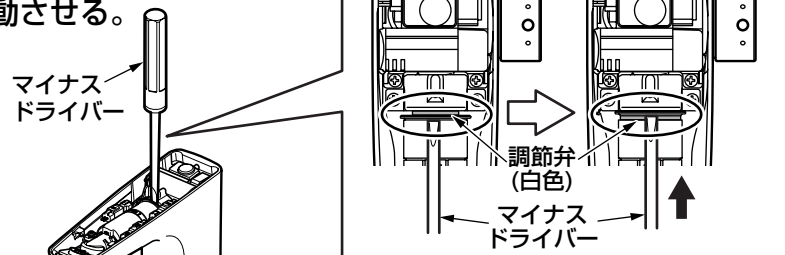


3. 継手と発電ユニットの間にあるピンを外す。

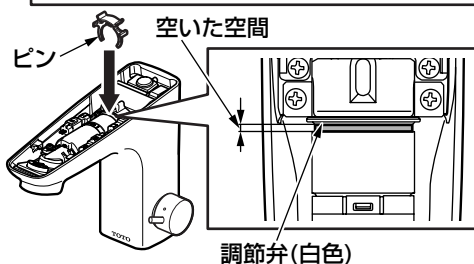


4-2. 流量の調節

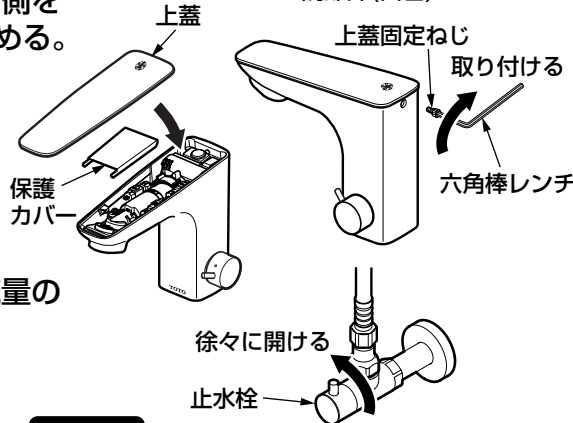
4. マイナスドライバーを調節弁の前側に差し込み、調節弁を後ろ側に移動させる。



5. 空いた空間にピンを差し込む。



6. 保護カバーを取り付ける。
上蓋を開め、上蓋の後ろ側を押えながら固定ねじを締める。

**注意**

上蓋を閉める際は、コードのかみこみに注意してください。

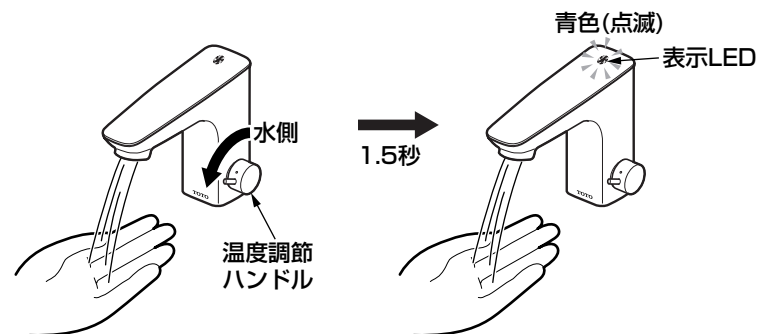
7. 止水栓を徐々に開け、流量の調整を行う。

注意

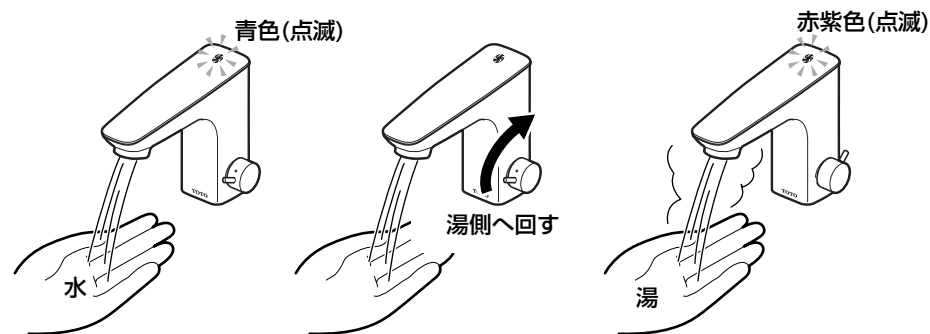
- サーモスタット混合栓の場合、温度調節ハンドルを水側いっぱい状態で流量を調節してください。
- 500mLの容器が12～16秒の間で満水になるように調節してください。

5. 温度とLEDの確認(サーモスタット混合栓のみ)

1. 温度調節ハンドルを水側いっぱいにし、センサーに手をかざした状態で、1.5秒水を流し、表示LEDが青色で点滅を開始することを確認する。



2. 温度調節ハンドルを水側から湯側へ回転させて、温度が変わったこと、LED表示の色が青色から赤紫色へ段階的に変化するを確認する。



- 温度調節ハンドルを湯側いっぱいにしても温度がぬるく感じる場合は、6. 温度調節ハンドルの設定を参照し、温度の調整を行う。

注意

流量が足りないと発電しないため、LEDは光りません。

6. 温度調節ハンドルの設定(サーモスタット混合栓)

1. 温度が低い場合は、ハンドルを水側いっぱいの位置まで回す。

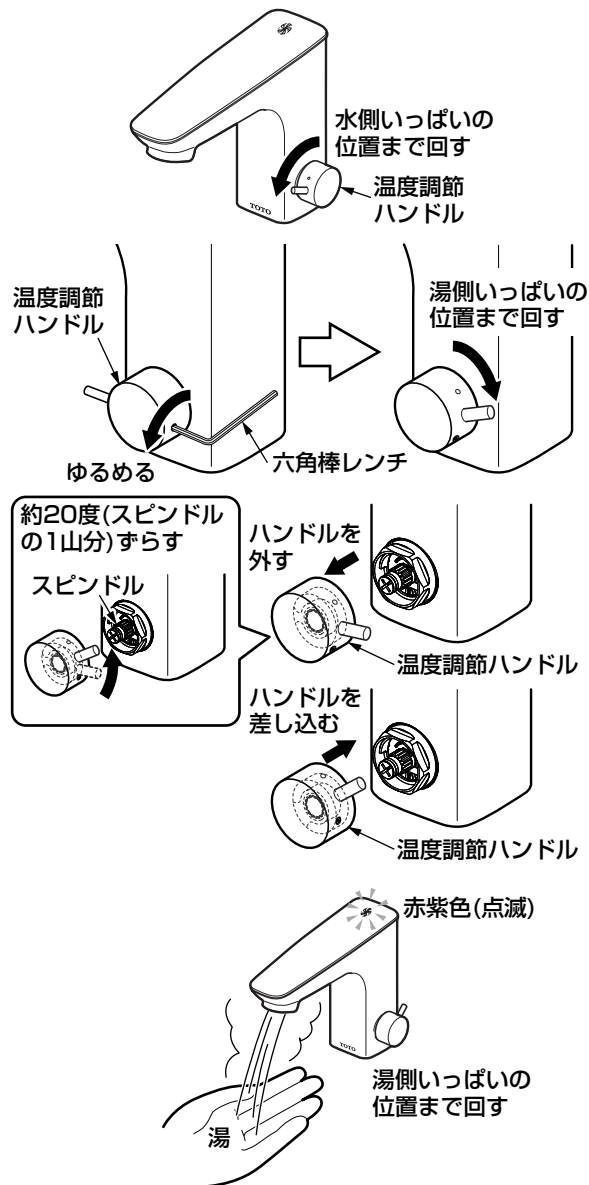
2. 固定用のねじをゆるめてハンドルを外せる状態にし、そのままハンドルを湯側いっぱいの位置まで回す。

市販されている対辺2mmの六角棒レンチをご使用ください。

3. ハンドルを外し、約20度(スピンドルの1山分)だけ左側に回して、ハンドルをスピンドルに差し込む。

4. ハンドルを湯側いっぱいにし、温度を確認する。

5. 適温となるまで3.4を繰り返し、適温に調節後、ハンドルを水側いっぱいの位置まで回し、固定用のねじを締め付ける。



点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 止水栓部の水漏れはないですか？

➡ 6-2 — ④「ソケットの接続」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

② 止水栓は開いていますか？

➡ 7-1 ④-1. 流量の調節 参照

③ フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 7-1 ②. フィルター付きパッキンの掃除 参照

④ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

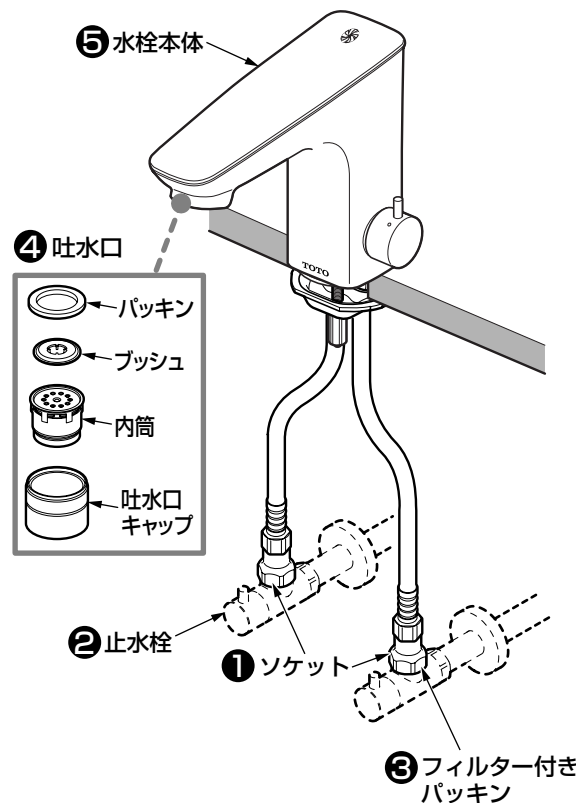
➡ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑤ 水栓本体のガタツキはないですか？

➡ 6-1 — ②「水栓本体の取り付け」参照



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。